| 学校番号 | 1101 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭科 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭基礎　つながる暮らし　共に創る未来（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | LIFE おとなガイド　デジタル＋　（教育図書） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活的自立を目指して、衣食住、家族、保育、高齢期、消費生活など様々な分野の学習を行います。
学習で得た基礎的な知識をもとに、自分や家族の生活をよりよくするための具体的な行動が取れる力を育てるために、ホームプロジェクトを中心とした課題解決型の学習も行います。
また、毎時の学習においてワークプリントの提出を求めます。空欄を埋めるだけでなく、メモをとるなど積極的に取り組みましょう。
実習や意見交換などのグループワークでは、人の話を聞くとともに自分の考えを伝えるコミュニケーションを意識しながら意欲的に取り組んでいきましょう。

## 2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住、生活設計などに関する知識や技術を総合的に身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住、生活設計などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住、生活設計などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・家族、保育、高齢期、食生活、衣生活、住生活、消費生活各分野に関する基礎的、基本的な知識を身に付けている。<br>・食生活、衣生活に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 | ・各分野で学習した内容を自らの生活に当てはめ、生活を豊かにしていくにはどのように行動していけばよいかを考え、それを表現することができている。<br>・生活課題を見つけ、解決していくにはどのようにすればよいかを考え、それを表現することができている。 | ・ワークプリントや振り返りシートの記入が十分になされている。<br>・実習において説明をよく聞き主体的に行動している。<br>・グループワークにおいてコミュニケーションを図りながら主体的に取り組んでいる<br>・学習に必要な用具の準備ができている。<br>・授業に対する主体的な姿勢ができている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 生活設計（1） | 1　人の一生と生涯発達<br>2　ライフイベントと人の生き方 | a:人の一生を見通し、生涯発達の考え方を理解している。各ライフステージにおける発達課題を理解している。青年期の発達課題である「５つの自立」について理解している。<br>b:青年期の発達課題についての学習を通して、今の自分の課題を発見し、目標を設定し今後の生き方に繋げようとしている。<br>c:生涯発達、発達課題についての学習を通じ、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワークプリント | ワークプリント<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 家族・家庭 | 1 家族を築くこと<br>2 法律と家族･家庭<br>3 現在の家族を取り巻く状況<br>4 男女共同参画社会<br>5 これからの仕事と家庭生活 | a:・家族とは何か、家庭の機能にはどのようなものがあるかを理解している。<br>・家族・家庭に関する法律を理解している。<br>・世帯構造の変化や家族関係の変化について理解している。<br>・性別役割分業意識の変化や男女共同参画社会のあり方について理解している。<br>・ワークライフバランスを保ちながら働くことについて理解している。<br>b:よりよい家族関係を築くためにはどのようにすればよいかについて、様々な観点から思考を整理し、自らの生き方に繋げようとしている。<br>c:家族･家庭についての学習を通じ、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。<br>・クラスメイトとの意見交換に主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント<br>定期考査<br>レポート | ワーク<br>プリント<br>観察<br>振り返り<br>シート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 高齢期 | 1 高齢期の心身の変化<br>2 高齢期の健康・生活<br>3 超高齢社会の現状と課題<br>4 共生社会とノーマライゼーション<br>5 高齢者疑似体験 | a:・高齢期の心身の変化について理解している。<br>・高齢期に起こりやすい病気の特徴と生活への配慮について理解している。<br>・超高齢化社会の現状と課題について理解している。<br>・共生社会に必要な社会保障制度について理解し、ノーマライゼーションの理念を理解している。<br>b:・高齢期を自分の人生の延長線上にあるものとしてとらえ、よりよい高齢期を迎えるためには、今からどのようにしていけばよいか、思考を整理し、自らの生き方に繋げようとしている。<br>・超高齢社会の課題に気づき、課題解決に向けて考えを深めている。<br>・高齢者疑似体験により高齢者の身体変化の特徴を想像し、高齢期の課題解決に向けて考えを深めている。<br>c:・高齢期の特徴や超高齢社会の現状と課題についての学習を通して課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。<br>・高齢者疑似体験の実習に主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント<br>定期考査<br>レポート | ワーク<br>プリント<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 衣生活 | 1 衣服のはたらき<br>2 衣服の材料と成り立ち<br>3 衣服の計画と管理<br>4 これからの衣生活<br>5 小物の製作 | a: ・衣服の機能と安全上の問題について理解している。<br>・繊維の種類と布の成り立ちについて理解している。<br>・衣服の表示や手入れ、保管など衣服の管理について理解している。<br>・持続可能な衣生活について理解している。<br>・手縫いの基礎を理解し、小物の製作ができる。<br>b:・自分の衣生活の課題を見つけ、課題解決に向けて思考を整理したり表現したりできる。<br>・環境に配慮した衣生活について思考を深め、自らの生き方に繋げようとしている。<br>c:・被服実習に主体的に取り組んでいる。<br>・よりよい衣生活を送るために課題解決に向けて、主体的に取り組んでいる。 | 定期考査<br>作品の<br>技術点 | ワーク<br>プリント | ワーク<br>プリント<br>振り返り<br>シート<br>観察 |
| | ホームプロジェクト | 1 ホームプロジェクトとは<br>2 ホームプロジェクトの進め方<br>3 ホームプロジェクトの実践<br>4 ホームプロジェクトの発表 | b:・自分自身の生活課題を発見し解決を目指して計画を立て、実践している。<br>c:・自分の実践を振り返り、成果や課題についてまとめ、発表している。 | | レポート<br>発表内容 | レポート<br>発表態度 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 食生活 | 1 現代の食生活<br>2 食品に含まれる栄養素<br>3 安全に食べるために<br>4 健康に食べるために<br>5 調理実習<br>6 食文化の継承とこれからの食生活 | a:・現代の食生活についての課題を理解している。<br>・五大栄養素の働きについて理解している。<br>・安全に食べるために必要な食中毒と添加物について理解している。<br>・食事摂取基準と食品群別摂取量の目安について理解している。<br>・調味料の計量や切り方、調理法など調理の基礎について理解している。<br>・和食や郷土料理、行事食などの食文化について理解している。<br>・環境に配慮した食生活について理解している。<br>b:・自分の食生活の課題を見つけ、課題解決に向けて思考を整理したり表現したりできる。<br>・食品群別摂取量の目安に応じた<br>献立作成ができる。<br>・食文化の継承やフードロスなどの環境問題との関連について考えを深め、自らの生き方に繋げようとしている。<br>c:・調理実習に主体的に取り組んでいる。<br>・よりよい食生活を送るために課題解決に向けて、主体的に取り組んでいる。 | 定期考査<br>小テスト | ワーク<br>プリント<br>レポート | ワーク<br>プリント<br>振り返り<br>シート<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保育 | 1 子どもの発達と発育<br>2 子どもの生活と保育<br>3 これからの子育て環境 | a:・子どもの発達と発育の特徴について理解し、発達を促す保育について理解している。<br>・子どもの生活の特徴を理解し、よりよい生活習慣を身に付けさせるための親の役割について理解している。<br>・進行する少子化や親の育児不安について理解し、子育てを支えるしくみについて理解している。<br>b:子どもの発育・発達の道すじを理解し、よりよい保育のあり方について思考を整理し、自らの生き方に繋げようとしている。<br>c:子どもの発育・発達と生活、および保育についての学習を通じ、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。<br>・グループワークに主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント<br>定期考査<br>レポート | ワーク<br>プリント<br>観察<br>振り返り<br>シート |
| | 住生活 | 1 住まいの機能<br>2 安全な住まい<br>3 快適な住まい<br>4 住まいの課題と未来の暮らし<br>5 住宅情報の読み方 | a:・住まいの機能と気候風土に適した住まい方について理解している。<br>・災害や家庭内事故等への備えについて理解している。<br>・平面図の見方を理解している。<br>・健康的な住まいについて理解している。<br>・持続可能な住み方の工夫やライフスタイルの変化に応じて住まい方が変わることを理解している。<br>b:・平面図の読み方学習により住宅情報誌やインターネット上の住宅情報を読み取ることができる。<br>・自分の住生活の課題を見つけ、課題解決に向けて思考を整理したり表現したりできる。<br>c:・住生活分野の学習に主体的に取り組んでいる。<br>・住宅情報の読み取り実習に主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント<br>住宅情報の読み取り | ワーク<br>プリント<br>観察<br>振り返り<br>シート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経済計画 | 1 家計と社会のかかわり<br>2 将来の経済計画を考える | a:収入と支出の内訳を知り家計の管理について理解している。<br>b:将来の経済計画について考えを深めることができている。<br>c:家計の管理や将来の経済計画の学習に主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント | ワーク<br>プリント<br>観察 |
| | 消費生活 | 1 契約の重要性<br>2 消費者信用のしくみ<br>3 消費者問題の現状と課題<br>4 消費者の権利の責任 | a:・消費者信用のしくみを理解し、多様化する支払方法について理解している。<br>・消費者問題の現状と課題および消費者の権利と責任について理解している。<br>b:・自分自身の消費生活を見直し課題解決に向けて思考を深めることができている。<br>c:・消費生活についての学習に主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント<br>レポート | ワーク<br>プリント<br>観察 |
| | 環境問題を考える | 1 さまざまな環境問題<br>2 環境問題に対する社会の取り組み<br>3 持続可能な消費 | a:・さまざまな環境問題とそれに対する社会の取り組みを理解している。<br>・持続可能な消費生活とはどのようなものか理解している。<br>b:・自分自身の暮らしを見直し持続可能な消費生活の実現に向けて思考を深め行動しようとしている。<br>c:・環境問題および持続可能な消費生活について主体的に取り組んでいる。 | 定期考査 | ワーク<br>プリント<br>レポート | ワーク<br>プリント<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度